

移動等円滑化促進地区(案)について

1. 移動等円滑化促進地区の要件

移動等円滑化促進地区(以下「促進地区」という)は、バリアフリー法^{※1}および国の基本方針^{※2}で整理されている「促進地区の要件」に基づき設定を行います。

表 1 促進地区の要件(バリアフリー法第2条23号、国の基本方針より)

| 項目 | バリアフリー法上の位置づけ | 補足事項 (国の基本方針の記載内容) |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区 | ・生活関連施設(高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他の施設をいう。以下同じ。)の所在地を含み、かつ、 <u>生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区</u> であること。 | ・「生活関連施設」について、具体的にどの施設を含めるかは、施設の利用の状況等地域の実情を勘案して選定する。 ・「生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区」は、生活関連施設が徒歩圏内に集積する地区。(原則として生活関連施設が概ね3以上所在し、かつ、当該施設を利用する相当数の高齢者、障害者等により、当該施設相互間の移動が徒歩で行われる地区と見込まれる) ・旅客施設を含まない地区の設定も可能。 |
| ②生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化の促進が特に必要な地区 | ・生活関連施設及び生活関連経路(生活関連施設相互間の経路をいう。以下同じ。)を構成する一般交通用施設(道路、駅前広場、通路その他の一般交通の用に供する施設をいう。以下同じ。)について移動等円滑化を促進することが特に必要であると認められる地区であること。 | ・移動等円滑化促進地区は、高齢者、障害者等の移動や施設利用の状況、土地利用や諸機能の集積の状況や、これらの将来の方向性の観点から総合的に判断し、一体的なバリアフリー化の促進が特に必要な地区であることが必要である。 |
| ③バリアフリー化を促進することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区 | ・当該地区において移動等円滑化を促進することが、 <u>総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切である</u> と認められる地区であること。 | ・「都市機能」は、高齢者、障害者等に交流と社会参加の機会を提供する機能、消費生活の場を提供する機能、勤労の場を提供する機能等が挙げられる。 |

※1 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(平成18年法律第91号、令和3年4月1日施行)

※2 移動等円滑化の促進に関する基本方針(令和二年国家公安委員会、総務省、文部科学省、国土交通省告示第一号)

2. 促進地区の設定について

(1) 候補地区の選定

促進地区の設定にあたっては、複数の候補地区を選定し、生活関連施設の分布状況やバリアフリー化の必要性等の観点から評価を行い、促進地区の箇所を決定します。具体的な促進地区の区域については、今後実施予定の、まち歩き点検等の結果を踏まえて設定します。

促進地区の候補地区は「1. 促進地区の要件」で挙げられる3つの要件を踏まえ、「生活関連施設が3施設以上立地している鉄道駅周辺地区」と「市の上位計画等での位置付けがある地区」の2つの視点から、表3のとおり選定しました。

なお、候補地区のエリアは、地区の中心となる駅や主要な施設等から半径1kmのエリアを対象とします。ただし、「秋田駅周辺」については、上位関連計画における位置づけも踏まえ、中心市街地活性化基本計画区域を包含するエリアを候補地区とします。

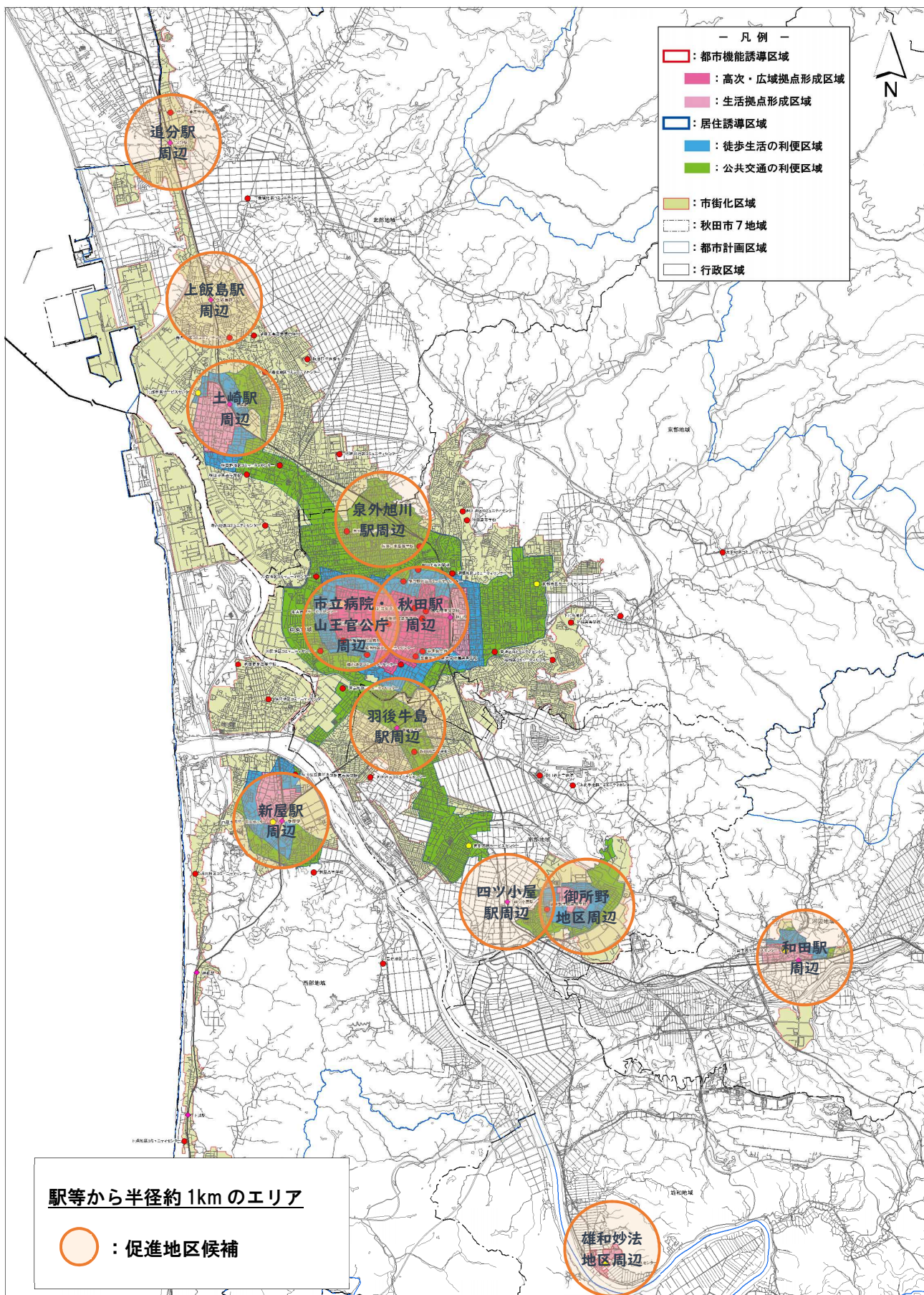
表 2 候補地区の選定要件

| バリアフリー法における促進地区の要件 | 促進地区の候補地区の選定要件 |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区 | <div style="border: 2px solid green; padding: 10px; margin: 5px;"> (ア)生活関連施設が3施設以上立地している鉄道駅周辺地区 </div> |
| ②生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化の促進が特に必要な地区 | |
| ③バリアフリー化を促進することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区 | <div style="border: 2px solid green; padding: 10px; margin: 5px;"> (イ)上位計画等での位置付けがある地区 ⇒立地適正化計画の都市機能誘導区域^{※3}に含まれるエリア </div> |

表 3 候補地区の選定結果

| | | |
|-----------------------------------|----------|----------|
| 〈促進地区の候補地区〉 | | |
| ◇視点(ア)による地区 | | |
| ・追分駅周辺 | ・上飯島駅周辺 | ・土崎駅周辺 |
| ・泉外旭川駅周辺 | ・秋田駅周辺 | ・羽後牛島駅周辺 |
| ・新屋駅周辺 | ・四ツ小屋駅周辺 | ・和田駅周辺 |
| ◇視点(イ)による地区 | | |
| ・市立病院・山王官公庁周辺（両施設を結ぶ中点を中心とした地区） | | |
| ・雄和妙法地区周辺（「雄和市民サービスセンター」を中心とした地区） | | |
| ・御所野地区周辺（「イオンモール秋田」を中心とした地区） | | |

※3 都市機能誘導区域:立地適正化計画(居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組の推進を目指す計画)において設定される区域で、医療・福祉・商業・子育て支援等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。



都市機能・居住の各誘導区域 2018年3月31日 時点

図 1 立地適正化計画の都市機能誘導区域と候補地区の分布状況

(2) 候補地区の評価

(1)で選定した候補地区を、以下の評価基準に基づき評価し、促進地区の箇所を決定します。

評価基準は、バリアフリー法に基づき、幅広い市民の利用が想定される主な生活関連施設の立地状況や、人口の分布状況、市の上位計画との整合等に関連して設定しました。

表 4 候補地区の評価基準

| 評価項目 | 評価指標 | 配点 | 評価基準 |
|----------------|---------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①主な生活関連施設の立地状況 | 生活関連施設の候補施設(介護・福祉機能、子育て機能、商業機能、医療機能、教育・文化機能、金融機能、主な都市公園、路外駐車場) | 20点 | 20施設以上 (20点) 10施設以上 (10点) 10施設未満 (0点) |
| ②鉄道駅の利用者数 | 鉄道駅の1日平均利用者数 ^{※4} | 20点 | 3,000人以上 ^{※5} (20点) 1,500人以上 (10点) 1,500人未満 (0点) |
| ③バスの運行状況 | 候補地区内のバス停のうち、バス(路線バス、マイタウンバス)の運行本数が最も多いバス停の1日平均運行本数(平日と休日の運行本数より算出) | 20点 | 100本以上/日 (20点) 50本以上/日 (10点) 50本未満/日 (0点) |
| ④人口分布 | 候補地区全体の平均人口との比較 | 10点 | 7,363人以上 (10点) 7,363人未満 (0点) |
| ⑤高齢者分布 | 候補地区全体の平均高齢者数との比較 | 10点 | 2,012人以上 (10点) 2,012人未満 (0点) |
| ⑥上位計画との整合 | 立地適正化計画における都市機能誘導区域・居住誘導区域 ^{※6} の指定状況 | 20点 | 都市機能誘導区域 ^{※3} の指定有り (20点) 居住誘導区域 ^{※6} のみ指定有り (10点) 誘導区域の指定無 (0点) |
| 合計 | | 100点 | |

※4 鉄道駅の利用者は乗車した駅で降車するものと仮定し、「JR鉄道駅別の1日平均乗車人員」(2020年・東日本旅客鉄道株式会社ホームページ)を倍増させて算出する。なお、データのない駅については1,500人未満(0点)の扱いとする。

※5 国の基本方針^{※2}において、1日あたりの平均的な利用者数が3,000人以上の鉄道駅(秋田市内では秋田駅、土崎駅および追分駅)を対象に、エレベーターの設置等による段差の解消等について、整備目標を定めていることから、利用者数3,000人を目安として評価基準を設定している。

※6 居住誘導区域:立地適正化計画において設定される区域で、人口減少の中にあっても、一定のエリアにおいて人口密度を維持し、生活サービス等が持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域

評価基準に基づき、促進地区候補地区の評価結果を以下に示します。

促進地区の区域については、評価点の高い「秋田駅周辺地区」「土崎駅周辺地区」「新屋駅周辺地区」「市立病院・山王官公庁周辺地区」の4つの箇所をもとに、生活関連施設や生活関連経路の状況、今後実施予定のまち歩き点検の結果等を踏まえて設定します。

なお、追分駅周辺は促進地区の箇所に設定しませんが、1日あたりの平均利用者数が3,000人以上となる追分駅については、国の基本方針に基づき、エレベーターの設置等による段差の解消等、バリアフリー化を促進します。

また、令和3年3月に開業した泉外旭川駅の周辺については、駅の利用者数や生活関連施設の動向等を踏まえて、促進地区の設定を検討します。

表 5 促進地区候補地区の評価結果

| 地区 | 指標 | 主な生活 関連施設 | 鉄道駅の 1日平均 利用者数 | バス 1日平均 運行本数 | 地区内 人口 | 地区内 高齢者人口 | 誘導区域 指定状況 | 合計 |
|--------------------|-------|--------------|----------------------|--------------------|-----------|--------------|--------------|----|
| 追分駅周辺 | 12施設 | 3,014人 | 55本 | 3,182人 | 982人 | 居:×,都:× | | |
| | 10点 | 20点 | 10点 | 0点 | 0点 | 0点 | 40点 | |
| 上飯島駅周辺 | 10施設 | — | 121本 | 9,584人 | 2,696人 | 居:×,都:× | | |
| | 10点 | 0点 | 20点 | 10点 | 10点 | 0点 | 50点 | |
| 土崎駅周辺 | 45施設 | 3,558人 | 111本 | 13,170人 | 4,400人 | 居:○,都:○ | | |
| | 20点 | 20点 | 20点 | 10点 | 10点 | 20点 | 100点 | |
| 泉外旭川駅周辺 | 27施設 | — | 52本 | 14,713人 | 3,557人 | 居:○,都:× | | |
| | 20点 | 0点 | 10点 | 10点 | 10点 | 10点 | 60点 | |
| 秋田駅周辺 | 156施設 | 14,912人 | 783本 | 16,549人 | 4,693人 | 居:○,都:○ | | |
| | 20点 | 20点 | 20点 | 10点 | 10点 | 20点 | 100点 | |
| 羽後牛島駅周辺 | 31施設 | 1,470人 | 39本 | 15,693人 | 4,749人 | 居:○,都:× | | |
| | 20点 | 0点 | 0点 | 10点 | 10点 | 10点 | 50点 | |
| 新屋駅周辺 | 19施設 | 1,666人 | 168本 | 9,986人 | 2,543人 | 居:○,都:○ | | |
| | 10点 | 10点 | 20点 | 10点 | 10点 | 20点 | 80点 | |
| 四ツ小屋駅周辺 | 5施設 | — | 30本 | 2,920人 | 563人 | 居:○,都:× | | |
| | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 10点 | 10点 | |
| 和田駅周辺 | 10施設 | 484人 | 14本 | 1,911人 | 583人 | 居:○,都:○ | | |
| | 10点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 20点 | 30点 | |
| 市立病院・ 山王官公庁周辺地区 | 53施設 | — | 290本 | 14,605人 | 3,398人 | 居:○,都:○ | | |
| | 20点 | 0点 | 20点 | 10点 | 10点 | 20点 | 80点 | |
| 雄和妙法地区周辺 | 6施設 | — | 37本 | 288人 | 131人 | 居:○,都:○ | | |
| | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 20点 | 20点 | |
| 御所野地区周辺 | 39施設 | — | 128本 | 6,443人 | 1,214人 | 居:○,都:○ | | |
| | 20点 | 0点 | 20点 | 0点 | 0点 | 20点 | 60点 | |